

県大会決勝戦 戦評用紙

(記録抄用)

大会名	令和2年度 三重県高等学校バレーボール選手権大会 兼 男 6 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会三重県予選大会		参加数	37校
期 日	令和 2年11月14日	会 場	スポーツの杜伊勢体育館	
戦 績	1位	松阪工業高校	3位	海星高校
	2位	津工業高校	3位	四日市工業高校
戦 評	<p style="text-align: center;">  </p> <p style="text-align: center;"> 松阪工業高校 3 $\left(\begin{array}{c} 25-17 \\ 21-25 \\ 25-20 \\ 25-19 \end{array} \right)$ 1 津工業高校 </p> <p style="text-align: center;">R (櫻井 良隆)・U (氏本 敦之)・IF (丹羽 輝)</p> <p> 第1セットは松阪工業が③番⑤番のスパイクやブロックで先行したが、津工業も①番④番のクイックに③番⑤番⑦番の速い時間差や平行を絡めたコンビ攻撃で徐々に調子を上げていき、11対11となった。ここから松阪工業は②番のブロックや③番のサーブポイントなどでブレイクを重ね、18対12と大きくリードを広げた。その後、松阪工業はサイドアウトを確実に取り、25対17で第1セットを先取した。第2セットも松阪工業が先行する展開になったが、津工業の粘り強いつなぎからの速いコンビ攻撃での得点と松阪工業のミスで徐々に点差がつまり、20対20の同点となった。ここから津工業は⑦番⑤番のスパイクなどの4連続ブレイクで24対20とし、最後は③番のライト攻撃が決まり、25対21で津工業が第2セットを取った。第3セットは序盤からシーソーゲームが16対16まで続いたが、ここから松阪工業が②番③番のスパイクとブロックなどでブレイクを重ね、25対20で第3セットを取った。第4セットは序盤に松阪工業が③番の連続スパイクポイントで流れを掴むと、⑤番②番④番がブロックとスパイクで得点を重ね、⑧番のサーブポイントなどで20対9と11点差をつける展開となった。ここから津工業は①番のBクイック、⑤番や⑦番のレフト攻撃などで22対18と4点差まで追いつけたが、松阪工業は①番のダイレクトスパイクでマッチポイントを握り、最後は③番がバックアタックを決めて25対19で第4セットを取り、セットカウント3対1で松阪工業が優勝を決めた。 </p> <p style="text-align: right;">戦評者名 (重永貴博)</p>			
備考	1. 各種別、男女毎に戦評をする。 2. 戦評は250字程度でまとめる。 3. リーグ戦で決勝戦の無い大会は、大会全体の所感をまとめる。			